

ST-i・ガイド鏡筒アッセンブリー

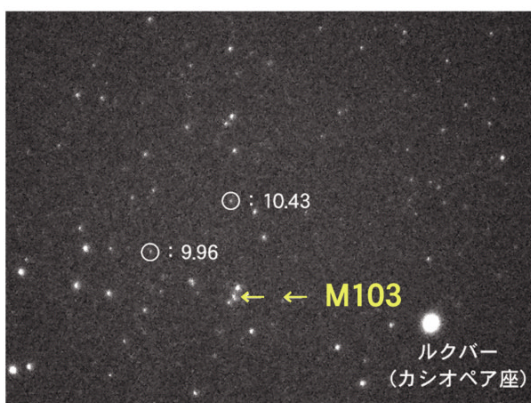


電子ファインダー テストリポート

ガイド鏡筒アッセンブリーによる写野

(視野角：2.0×2.7° 角※)

※この画角とST-iの高感度が組合わさる事で、理論上、全天のどの領域でも確実にガイド星を検出する事が可能になります。



ST-i・モノクロカメラの場合（露出1秒）

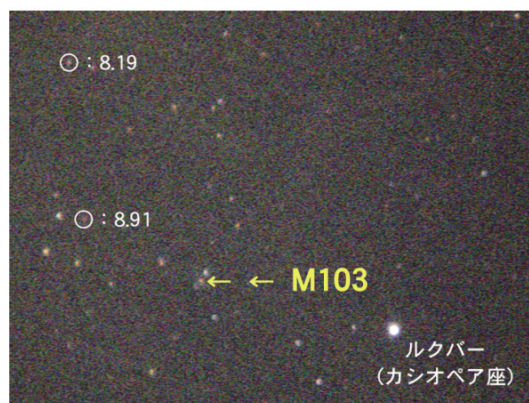
1秒露光（モノクロ）

= 10等星以上！

← 1秒露光で →
「M103」を確認。

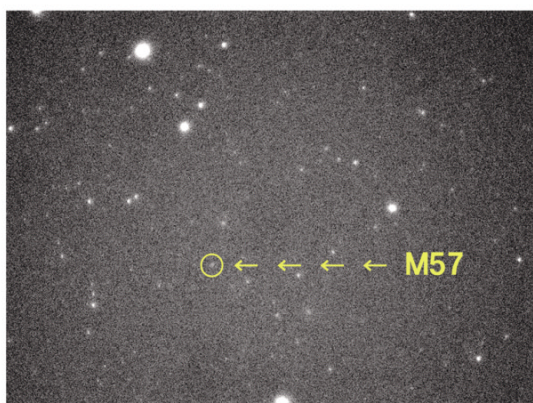
1秒露光（カラー）

= 約9等星まで！



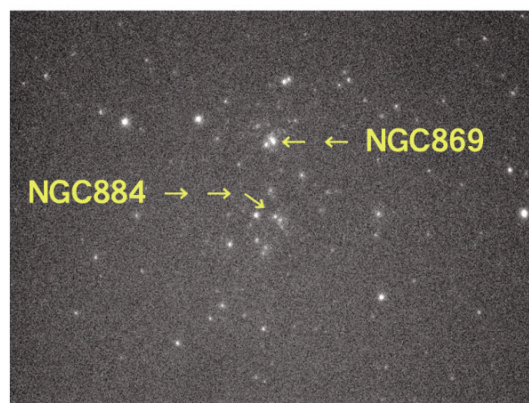
ST-i・カラーカメラの場合（露出1秒）

※上記カラー仕様でのオートガイドは特性上、不適となります。
電子ファインダーとしてのご使用に最適です。



← 1秒露光で
「M57」を確認。

0.5秒露光で →
「h-χ」を確認。
(NGC884/869)



※ST-i本体は別売。

ST-i・ガイド鏡筒アッセンブリー

(通常¥59,800-) 特価 **¥39,800-**

電子ファインダー

とは、名の通り「デジタル高感度カメラ」などを使って、ファインディングチャートスケールの「星野写真」を取得、もしくは画面上で確認を行なう事の固有単語で、主に眼視では確認しにくいような暗い対象を中心に特定の恒星などからのファインディング（検索）を行なう事を差します。今回は、フルカラーモデルである「ST-i・カラーカメラ」での取得画像を加えて、上記の計4画像をご紹介します。

また、この「電子ファインダー機能」を流用して行なわれるのが、「ST-i・ガイド鏡筒アッセンブリー」による「オートガイディング」で、こちらの性能も驚異的な高性能を示す結果が示されています。（詳しくは別紙をご参照下さい。）